



きんもくせい

鹿島市立古枝小学校
学校だより No. 13
令和7年11月13日
校長 橋本 憲彦

教育目標 「かがやけ!『古枝スピリッツ』～“やる気・優しさ・元気”いっぱい」

脱穀体験（5年生）

5年生は、10月28日（火）に地域の皆様や保護者の皆様のご協力をいただき、脱穀体験を行いました。竹竿にかけて天日干ししていた稲をみんなで力を合わせて脱穀機まで運びました。日差しの強い中での作業でしたが、子どもたちは最後まで一生懸命に取り組むことができました。今回収穫できたのは玄米で330kgのもち米です。地域の方々の温かい支えのもと、実りの多い体験となりました。収穫したもち米は、「5年生もちつき会」「古枝地区ふれあいまつり」「150周年のお祝いもち」で使用する予定です。



SDGs講座（6年生）

6年生は、10月30日（木）にSDGsについて学習しました。講師として、鹿島市役所ゼロカーボン推進室の江島美央様をお招きし、スライドを使いながら分かりやすくお話しいただきました。子どもたちは、クイズに挑戦しながら楽しみつつ理解を深めることができました。また、佐賀県で唯一「SDGs未来都市」に選ばれている鹿島市の取組やゼロカーボン推進室で進められている活動についても紹介していただきました。子どもたちは、身近な地域での取組を知ることによって持続可能な社会づくりへの関心を高めていました。



学校ボランティアありがとうございます

5・6年生は、家庭科の時間に「調理」や「裁縫」に取り組んでいます。これまで多くの学校ボランティアの皆様にお越しいただき、子どもたちの活動を丁寧にサポートしていただいています。おかげで子どもたちは、楽しみながら意欲的に学習に取り組むことができます。ご支援ありがとうございます。



サガン鳥栖あいさつ運動・サッカー交流（全学年）

11月6日（木）にサガン鳥栖の高橋義希さんとウイントスくんが来校されました。朝は、校門で子どもたちを出迎えてくださり、3年生のPTA役員の皆様も一緒にあいさつ運動に参加してくださいました。そのおかげで、子どもたちのあいさつの声もいつも以上に元気に響いていました。1時間目は、高橋義希さんが5・6年生を対象に「努力すること」や「感謝すること」の大切さについて、ご自身の経験を交えてお話してくださいました。子どもたちは真剣に耳を傾けていました。その後は、大人チーム（高橋義希さん、ウイントスくん、古枝小の先生方）と子どもチーム（6～7人）によるサッカーの試合を行いました。2時間目は、1～4年生の子どもたちがサッカーの試合に参加しました。好プレーが随所に見られるなど大いに盛り上がりました。どの子も懸命にボールを追いかけて、笑顔あふれる楽しい時間となりました。



UD（ユニバーサルデザイン）出前講座（4年生）



4年生は、11月6日（木）にUD（ユニバーサルデザイン）について学習しました。「〇〇な障がい者の会」会長の内田勝也様をお招きし、「みんなが笑顔で暮らせるために」というテーマでお話いただきました。内田様からは「認めあい」「ゆずりあい」「支えあい」の3つの「あい」が大切であること、また、障がいのある方に対しては「何かお手伝いできることはありませんか」と声をかけることが一番よいことなどを教えていただきました。お話の後には、車椅子の体験をしました。ペアになって活動し、相手に優しく声をかけながら体験する姿が見られました。子どもたちは、思いやりの気持ちや助け合うことの大切さを実感していました。



12月の主な行事予定

※ 詳細につきましては、古枝小のホームページにてご確認ください。

5日(金)	古枝小 150 周年記念式典・学習発表会	24日(水)	後期前半終了
19日(金)	人権集会	25日(木)	冬休み（～1/7）